

## 本時のねらい

東北地方の祭りを調べることで、東北地方の人々の願いと産業の特徴について理解する。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

東北地方の祭りについて班で分かれて調べ、プレゼンテーションソフト（Google スライド）にまとめることで、必要な情報を、わかりやすくまとめる能力の育成する。

デジタルホワイトボード（Google Jamboard）にそれぞれの祭りの目的について記入し、東北地方の祭りの特徴について自分なりの考えをまとめる活動を通して、他者の意見を活用し、自分の意見を練り上げることをねらった。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・タブレット PC
- ・プロジェクター
- ・デジタルホワイトボード（Google Jamboard）
- ・授業支援ソフト（Google Classroom）
- ・プレゼンテーションソフト（Google スライド）

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○東北地方の県名・県庁所在地名・地形についてプリントにまとめる ○本時のめあて「東北地方の祭りから地域の特徴を理解する。」を提示し、東北地方の祭りについて知っていることを発表する。	
展開 (35分)	○班に分かれて、「竿燈まつり」「七夕まつり」「わらじまつり」「東北絆まつり」「ねぶたまつり」「花笠まつり」について調べ、プレゼンテーションソフト（Google スライド）にまとめる。 ○ほかの班の作成したプレゼンテーションソフト（Google スライド）を見て、様々な祭りの目的について、デジタルホワイトボード（Google Jamboard）にまとめる。	・事前にまとめるためのひな型を作り、全員が取り組めるようにする。 ・画像の活用や、見やすくするための工夫を伝える。 ・ほかの班の作成したプレゼンテーションの中で、気になったことはインターネットで検索してもよいことを伝え、疑問や難しいと思うところを自分の力で解決するように促す。
まとめ (5分)	○デジタルホワイトボード（Google Jamboard）上に書いた祭りの目的を自分の言葉で表現し、自分で考えた東北地方の特徴をアウトプットする。	

## 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1 プレゼンテーションソフトを使い班で入力する様子

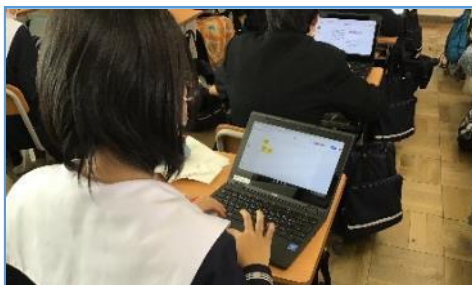


写真2 デジタルホワイトボードに祭りの目的をまとめる様子



写真3 デジタルホワイトボードに入力されたクラスの意見をもとに自分の意見をまとめる様子

## 児童生徒の反応や変容

- ・同じ画面を見ながら作業をすることで、自分の担当する内容に戸惑っている生徒にも同じ班の生徒同士で協力することができた。
- ・自分の意見を書くことが苦手な生徒でも、他の生徒の意見も参考にしながら、自分なりの言葉で東北地方の特徴を記入することができた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・班で分担した作業が同時に見えることから、個人の責任が明確になり、それぞれの生徒が主体的に取り組むことができた。